

ミニレター

あぜみち通信

令和5年3月1日

267号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

◎ 全国農業経営者研究大会が開催されました

2月1日～2日に会場・WEB併用方式により、全国農業経営者協会、全国認定農業者協議会及び一般社団法人全国農業会議所の共催により「第52回全国農業経営者研究大会」が開催されました。

「食と農を国の機軸とし、食糧安全保障を確立する」をテーマに掲げ、1日目は多摩大学学長の寺島実郎氏による講演のほか、情勢報告、農業経営者の代表によるパネルトークなどが行われました。2日目は、米政策、養鶏、肉用牛、都市農村交流の各分科会に分かれて、改正農業経営基盤強化促進法等について情報共有・意見交換が行われました。

なお、愛知県稲作経営者会議からは7名が参加（Web参加含む）されました。

◎ 東海地域就農促進対策会議が開催されました

2月3日に農林水産省東海農政局において、同局主催による「第1回東海地域就農促進対策会議」が開催されました。

農林水産省本省からの新規就農関係、農業労働力関係の令和5年度予算等に関する情報提供に続き、岐阜・愛知・三重の各県からそれぞれの就農促進対策の実施状況について報告があり、それらを踏まえて今後の就農促進対策について意見交換が行われました。

◎ 常設審議委員会（2月）の審議状況について

2月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会等からの諮問に対する答申を審議する「常設審議委員会」を開催しました。

2月の諮問は、8の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案10件、65,827㎡のほか、農地法第41条に基づく中間管理機構の利用権設定に係る知事の裁定に関する事案1件を審議したところ、いずれも原案どおり許可して差し支えない旨承認されました。また、愛知県知事から農業経営基盤強化促進法第5条の規定に基づく「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」の見直しに関する事案1件を審議し、原案どおり変更して差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

小牧市(1件)、北名古屋市(1件)、弥富市(1件)、飛島村(1件)、東浦町(2件)、刈谷市(1件)、安城市(2件)、豊田市(1件)

◎ 地域協議会会長会議を開催しました

2月6日に「愛知県三の丸庁舎」において、「令和4年度地域協議会会長会議」を開催しました。川上会長の挨拶に続き、事務局から、今後の農地利用の最適化に向けた取組として、①11月24日開催の常設審議委員会(農政)以降の状況(同常設審議委員会(農政)での主な意見、要請活動など農業会議の取組、農業委員会へのアンケート結果の状況、国の動向など)、②今後の対応(現状・課題等を踏まえた令和4年度中の取組及び令和5年度の実施予定事業等)、③3月27日開催予定の臨時総会における「農地利用の最適化の推進に関する申し合わせ決議(素案)」について説明をしました。

出席者からは、地域計画の策定主体は市町村であり、各農業委員会は計画の中の「目標地図」の『素案』を作成することが求められているとの位置づけを明確にするべき等の意見が出されました。

農業会議としては、ご意見に的確に対応するとともに、令和5年度の事業計画や申し合わせ決議を具体化する「愛知の農業委員会活動活性化運動」等に反映させてまいります。

◎ 全国農業新聞総局長会議が開催されました

2月6日にWEB併用方式により、全国農業会議所主催の「令和4年度下半期全国農業新聞総局長会議」が開催され、本年10月から始まるインボイス制度への対応や令和4年度下半期・令和5年度新聞事業の取組について、情報共有・意見交換が行われました。

◎ 都道府県農業会議専務理事・事務局長会議、全国農業委員会都市農政対策協議会事務局長会議が開催されました

2月7日にWEB併用方式により、一般社団法人全国農業会議所主催の「都道府県農業会議専務理事・事務局長会議」が開催されました。

最初に、柚木専務理事から、「①食料・農業・農村基本法の改正案が6月を目途に示される見込みであること、②併せて農地法制や担い手確保・外国人雇用者の取扱い等の検討も進められていること、③4月以降に『地域計画』策定の加速化を望むこと」などの内容の挨拶がありました。

次いで、主要会務報告に続き、協議事項に入りました。協議では、最初に稲垣事務局長から、農業委員会組織をめぐる情勢と当面の対応について説明がありました。続いて事務局から、①令和5年度農林水産・農業委員会組織予算等、②令和5年度全国農業会議所事業計画案・収支予算案のほか、③食料・農業・農村基本法改正に向けた意見の提出、④「地域を活かし持続可能な農業・農村を創る全国運動」推進要領の改正、⑤令和5年度全国農業委員会会長大会、⑥情報事業の推進等について説明があり、質疑応答が行われました。

また、引き続き、「全国農業委員会都市農政対策協議会事務局長会議」が開催され、令和5年度の同協議会の運営方針・取組等について協議するとともに、営農型太陽光発電設備の設置に関する状況報告等がありました。

◎ **稲作経営者会議の県外視察研修が開催されました**

2月14日に愛知県稲作経営者会議の県外視察研修が滋賀県内の2箇所を視察先として開催されました。甲賀市の(有)るシオールファームは、115haの稲作のほか、麦、大豆、野菜の生産、直売所・レストランの経営、玉ねぎドレッシング等の製造、さらには作業受託等にも取り組み、地域農業の維持・発展に貢献しています。また、近江八幡市の(株)イカリファームは、米70ha、麦120ha、大豆125ha、作業受託85ha、乾燥調製350haのほか、国産小麦の生産にも取り組み、学校給食の食パン製造用の小麦生産に力を入れています。

◎ **都道府県農業会議会長会議が開催されました**

2月14日に東京都の「主婦会館プラザエフ」において、一般社団法人全国農業会議所主催の「都道府県農業会議会長会議」が開催されました。

國井会長の挨拶に続き、柚木専務理事から情勢報告がありました。

主要会務報告に続く協議事項では、事務局から①令和5年度農林水産・農業委員会関係予算等、②令和5年度一般社団法人全国農業会議所事業計画案・収支予算案、③食料・農業・農村基本法改正に向けた意見案、④令和5年度全国農業委員会会長大会並びに今後の農地対策、⑤情報提供活動の推進等について説明があり、協議が行われました。

◎ **農業委員会レディスあいち総会及び研修会が開催されました**

2月16日に名古屋市中区の「名古屋銀行協会」において、農業委員会レディスあいちの臨時総会が開催されました。

杉浦代表の挨拶に続き、令和5年度事業計画及び収支予算等について審議され、原案どおり承認・決定されました。引き続き、女性農業委員・農地利用最適化推進委員研修会が開催され、昨年、夫婦で北海道美幌町に移住・新規就農された、さいこうファームオホーツクビホロの吉田幸枝氏による「異業種から新規就農して感じた農業の魅力」と題した講演等が行われました。また、農業会議事務局より、委員の活動記録簿の活用について情報提供しました。

◎ **愛知県国際農友会の海外派遣農業研修事業 70 周年記念大会が開催されました**

2月20日に名古屋市中区の「東京第一ホテル錦」において、愛知県国際農友会主催の海外派遣農業研修事業70周年記念大会が開催されました。

元日本農業新聞記者の山田優氏による「世界と日本の食糧安全保障」と題した記念講演に続き、記念式典として杉浦会長の挨拶、「派遣事業70年の歩み」、「大会宣言」、記念表彰、研修生2名による帰国報告、海外農業研修生(インドネシアから3名)の挨拶が行われました。なお、式典では、大村愛知県知事、小林東海農政局長らが祝辞を述べました。

◎ **目標地図作成のためのスキルマスタ一体験研修会を開催しました**

2月22日に名古屋市中区の「名古屋銀行協会」において、県内農業委員会事務局職員を対象とした「目標地図作成のためのスキルマスタ一体験研修会」を開催しました。

研修講師として一般社団法人会議ファシリテーター普及協会(MFA)代表理事の釘山健一氏を招き、「目標地図」のための座談会の進め方を実習しました。

研修は、各農業委員会において今後、「目標地図」の素案作成に向けた話し合いを円滑に進めるため、事務局職員がファシリテーター（合意形成型会議の進行役）のスキルを学ぶことを狙いとして実施しました。座談会で参加者全員が発言できる方法や実際に地図を使った模擬座談会を開催しての合意形成方法など、一つ一つのスキルの必要性を学びました。

参加者からは、「（次年度に開催を計画している）実践版にも参加したい」「半日では物足りないのでは、時間をかけた研修を」「意見ではなく、思いを伝え、そこに付け足すことが対話の質を上げると学びました」「（思いを語り合う）日本型の対話の場を作る意識が必要だとわかりました」など、研修内容を評価する多くの感想が寄せられました。



◎ 農地中間管理事業の推進に係る意見交換会が開催されました

2月28日にWEB方式により、農林水産省東海農政局主催の「農地中間管理事業の推進に係る意見交換会」が開催されました。

東海農政局からの改正農地バンク法等に関する情報提供に続き、岐阜・愛知・三重の各県から、①令和4年度 of 取組状況及び課題・問題点、②令和4年度の課題を踏まえた今後の農地バンク事業の推進方針、③令和5年度予算（令和4年度補正含む）拡充内容の取組、④事例報告（各県2事例）について、それぞれ説明があった後、意見交換が行われました。

◎ 農業委員会事務局に対する巡回支援を実施します

農業会議では、農業委員会事務局への巡回支援を3月1日から3月24日まで10箇所で行います（3/1岡崎市、3/2名古屋市、3/6豊橋市、3/8愛西市、3/9半田市、3/10清須市、3/13小牧市、3/15安城市、3/16新城市、3/24知多市）。

今後の主な行事予定

- 3月 1日 愛知県稲作経営者会議役員会・情報交換会（名古屋クラウンホテル）
- 3月 3日 タブレット端末による現地確認アプリ操作研修会（アイリス愛知）
- 3月 7日 理事会及び常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 3月 9日 女性の農業委員会活動推進シンポジウム（東京・有楽町朝日ホール）
- 3月10日 農業者年金業務担当者研修会（桜華会館）
- 3月13日 レディースあいち役員会（県三の丸庁舎）
- 3月27日 臨時総会、理事会及び研修会（県三の丸庁舎）
- 3月30日 JAグループ臨時総会（JAあいちビル）
- *****
- 4月11日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 5月12日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 5月19日 農業委員会会長・事務局長会議（名古屋銀行協会）
- 5月30日 全国農業委員会会長大会・地元選出国會議員との意見交換会等
～31日 （東京・文京シビックホール、都市センターホテル）
- 6月 6日 理事会及び常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 6月27日 通常総会、理事会及び研修会（県三の丸庁舎）

農業者年金で安心・豊かな老後を

～農業者の老後は国民年金だけでは不安です～

◎農業に従事する方の老後の安心に役立ちます。国民年金 + 農業者年金

◎こんな方が加入できます。

①国民年金第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事 ③20歳以上60歳未満の方

※さらに、年間60日以上農業に従事する60歳以上65歳未満の国民年金の任意加入者も加入できます。

◎積立方式だから自分がかけた金額は年金として生涯もらえます。

(仮に80歳前に亡くなった場合でも、死亡一時金が遺族に支給されます。)

◎保険料は、いつでも変更できます。月々2万円(35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円)から6万7千円まで

◎支払った保険料は全額社会保険料控除となり、所得税や住民税等の節税になります。

◎政策支援(保険料の国庫補助)が受けられます。

例：認定農業者等で青色申告者で35歳未満の人は10,000円(5割)補助



問い合わせ先 お住まいの市町村農業委員会・JAの農業者年金担当

一般社団法人 愛知県農業会議 TEL. 052-962-2841

愛知県農業協同組合中央会 TEL. 052-951-6944

農政の動きを知り経営に役立てる

全国農業新聞

全国農業新聞は、農業委員会組織が編集・発行している情報紙です

★まとめて読める！週刊紙

○農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに

○地域の情報をカラーで生き活きと

○農業・農村現場や農業者の思いを伝承

○経営・流通に役立つ最新情報が満載

○老若男女すべての方の元気を応援

○文字が大きく読みやすい

発行日：毎月4回 毎週金曜日発行

購読料：月額700円、年8,400円(消費税込)

情報事業の推進には農業委員及び農地利用最適化推進委員の皆様のご協力が必要不可欠です。見本紙等をご希望の場合、お気軽にお問い合わせください。

全国農業図書

“目に見える”活動のために・・・農地パトロール4点セット

★農業委員会キャップ

布製のほか夏場のパトロール向けのメッシュタイプもご用意。全員で着用することでより注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。

- 布地タイプ（写真左）
コード番号：17-NC 定価：1,270 円（税込）
- メッシュタイプ（写真右）
コード番号：16-102 定価：1,060 円（税込）



★農業委員会腕章（布製） マジックテープ・安全ピンで固定

全員が着用することで注目が集まり、遊休農地解消や無断転用防止などの注意を喚起できます。日常の活動にも活用できます。

コード番号：16-101 定価：850 円（税込）

★農地パトロール・マグネット板（自動車用） サイズ：天地 15cm×幅 54cm

自動車のドアに左右セットで貼り付けて、活動をより目に見えるにします。

パトロールを行う全車に貼り、日頃から活用すると、不法投棄や無断転用防止の抑止効果が高まります。

コード番号：16-100 定価：1 枚 1,910 円（税込）

★農地パトロールポロシャツ サイズ：SS. S. M. L. LL. 3L. 4L

抜群の吸汗性と速乾性を兼ね備えたドライポロシャツ、青と白の2色。農業委員・推進委員の活動の「見える化」に役立つアイテムです。

- Aタイプ（写真左：胸元にワンポイント・背面にロゴマーク）
白のみ／コード番号：R03-AZ 定価：2,500 円（税込）
- Bタイプ（写真右：胸元にワンポイント・背面は無地）
白／コード番号：R03-BZ 定価：2,500 円（税込）
青／コード番号：R04-A〇 定価：2,500 円（税込）



●お問い合わせ先：一般社団法人愛知県農業会議

TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399

◆発行所：一般社団法人全国農業会議所 〒102-0084 東京都千代田区二番町 9-8◆